



徳島大学(徳島市)

青山万理子特任助教



甲状腺のしこり慌てず受診を

甲状腺は、首の前にある喉頭隆起(のどぼとけ)の少し下にあるチョウのような形をした小さな臓器です。1枚の羽(片葉)の大きさは縦4センチ、横幅1・5センチ程度です。体の代謝に必要な甲状腺ホルモンを産生しています。

甲状腺の腫瘍は、良性と悪性、更に腫瘍とよく似た過形成に分類されます。過形成は正常組織と同じよう

に細胞が増殖したもので、良性です。腫瘍様病変と表現します。注意しなればならないのは、がんなどの悪性腫瘍です。

甲状腺腫瘍はしこりがあるだけで、その他には自覚症状のないことが普通です。さまざまな検査でしこりが良性であるか悪性であるかの鑑別を行います。触診では、しこりの大きさを硬さ、広がりなどを調べま

うタイプのがんです。治療は手術が基本です。がんの進行具合によって、甲状腺とリンパ節の切除する範囲を決めます。

甲状腺のがんは進行が遅く、性質もおとなしいタイプのもので多いです。手術によってほとんどの方は治癒します。がんの大きさが1センチ以下の小さい場合には、手術をせずに経過観察を行うこともあります。

す。超音波検査では、しこりの大きさや形から悪性かどうか判断します。悪性腫瘍を疑った場合には、超音波検査で確認しながらしこりに針を刺して細胞を採取し、顕微鏡で良性か悪性かの判断を行います。悪性腫瘍の場合、約90%が乳頭がんとい

容性に優れます。もし甲状腺にしこりが見つかったも、慌てないでください。大半は良性腫瘍か、腫瘍様病変です。一部に悪性腫瘍が含まれますが、性質がおとなしい場合が多いです。甲状腺にしこりがあるとされた方は、まずは一度専門外来を受診することをお勧めします。

従来、甲状腺の手術は首の前に横向きに切開する、襟状切開という方法で行ってきました。当科では、症例に応じて内視鏡手術を行っています。服を着た状態で見えにくい場所を切開して手術を行いますので、整容性に優れます。